



2023年8月14日

各 位

会 社 名 G F A株式会社

代表者名 代表取締役 片田 朋希

(スタンダード市場 コード番号：8783)

問合せ先 執行役員 管理本部長 津田 由行  
(TEL 03-6432-9140)

### 第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ

当社は、2023年8月14日開催の当社取締役会において、以下のとおり、第三者割当による新株式（以下、「本新株式」といい、本新株式による資金調達を「本第三者割当増資」又は「本資金調達」といいます。）の発行を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 募集の概要

|                          |  |
|--------------------------|--|
| (1) 払込期日                 | 2023年8月31日   |
| (2) 発行新株式数               | 当社普通株式 1,470,500株  |
| (3) 発行価額                 | 1株につき金 68円   |
| (4) 資金調達の額               | 金 99,994,000円  |
| (5) 資本組入額                | 1株につき金 34円   |
| (6) 資本組入額の総額             | 金 49,997,000円  |
| (7) 募集又は割当方法<br>(割当先含む。) | 第三者割当による新株発行の方法により、合同会社Happy horseに対し、1,470,500株を割り当てます。 |
| (8) その他                  | 本第三者割当増資については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。                |

#### 2. 募集の目的及び理由

##### (1) 募集の目的

当社グループは、当社、連結子会社12社、持分法適用会社4社の計16社で構成されており、金融サービス事業（フィナンシャル・アドバイザー事業、投融資事業、不動産投資事業）、サイバーセキュリティ事業、空間プロデュース事業、ゲーム事業及び運送事業を主な事業として取り組んでおり、これらの5事業の調和のとれた拡大を目指しております。

金融サービス事業は、当社の祖業でありフィナンシャル・アドバイザー事業、経営投融資事業、不動産投資事業を中心に行ってまいりましたが、社会的要請及び時代の方向性に即するため

に、一步先の動きを見据えた事業展開を進めていく必要があると考えています。

既存の事業にとどまらず太陽光発電による売電や新たに取得したオンラインクレーンゲームの展開など多岐にわたったサービスを提供していきます。

また、2021年末頃より金融サービス事業の一つとして債権買取を実施しております。

サイバーセキュリティ事業は、子会社化を通して算入から4年半が経過し、ようやく事業基盤が整ってまいりました。サイバーセキュリティ業界は、まさに日進月歩の業界であり、製品・技術力、そして信頼が重要な鍵をにぎります。

当社グループにおいて、主軸となるサイバーセキュリティ商品の販売に加え、ITエンジニアを育てる就労支援事業のFC展開やBPOサービス事業による新規事業の拡大を進めております。

空間プロデュース事業は、子会社化を通して算入して3年が経過しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が一番大きく現れている事業であり、今期はこの影響からいかに立ち直るかが課題となっています。

アフターコロナによるインバウンド需要の回復・再拡大に応じた新たなサービスや集客方法等の再生に向けた努力を継続し、当社グループの主力事業へと発展させてまいります。

ゲーム事業は、世界的な通信網の拡大やスマートフォンの普及を背景に、急速なグローバル化を見せております。メタバース事業におけるNFT販売やオンラインクレーンゲーム事業を中心に、多くのファンの獲得とともに顧客に喜ばれるサービスの提供に努めてまいります。

運送事業は、EC貨物の増加を背景に長期的な成長が予想されております。増加する需要に対する人員の確保・教育に注力し、駐車場の貸出し等の安定的な収益獲得に加え、チャーター便・貸切配送便・ハンドキャリア・倉庫保管、医療品輸送など多様なサービスを提供してまいります。

今期に各事業は成長を見込んでいるものの、2023年3月期の業績については売上高2,353,302千円（前年同期比96.6%増）となり、経常損失2,068,191千円（前年同期は721,491千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失2,254,363千円（前年同期は1,160,201千円の親会社株主に帰属する当期純損失）と前期比で赤字拡大となりました。減益の要因としては、特に金融サービス事業におけるクレイモ事業の移行に伴う費用が嵩んだためであります。2023年3月期における各事業セグメントの概要は以下のとおりです。

#### ①金融サービス事業

金融サービス事業につきましては、主としてファイナンシャル・アドバイザー事業、経営投融資事業及び不動産投資事業の営業活動を行ってまいりました。ファイナンシャル・アドバイザー事業につきましては、取引先の資金調達支援や財務戦略の助言などに努めました。

経営投融資事業においては、当連結会計年度に事業譲受した美容脱毛サロンを運営するクレイモ事業部を立ち上げ、店舗における売上獲得へのアプローチ、従前顧客への救済措置として月間1万件を上限とする無償のサービス提供によるクレイモのイメージ回復及び事業の構築等を進めてまいりました。

しかしながら、クレイモ事業の譲受に伴う取得直後の店舗スタッフ人員確保に伴う費用、賃料等の店舗運営費用及び施術用の消耗品費用などの販売費及び一般管理費の負担が大きく、また社会的

にも反響のある中で、顧客獲得は容易ではない状況下での運営となりました。その後、従前顧客への救済措置として月間1万件を上限とする無償のサービス提供を見直し、2月中旬より有償化に向けた契約の切り替えを進めていきました。

投融資事業につきましては、様々な事業者の事業資金需要に応える事業融資を実行しました。

不動産投資事業につきましては、太陽光発電施設の運用による売電収入を得るとともに、不動産の売却活動を実施しました。

この結果、売上高は508,663千円（前年同期比112.6%増）、セグメント損失は1,409,477千円（前年同期は319,545千円のセグメント損失）となりました。

## ②サイバーセキュリティ事業

サイバーセキュリティ事業につきましては、主として、海外製のサイバーセキュリティ商品を国内の民間企業向けに販売を行いました。conpal GmbHと国内単独で契約した「conpal LAN Crypt」を中心に新規開拓及び後継製品としての需要を取り込むべく営業を進めてまいりました。また、就労支援事業においては、全国でFC店舗展開による施設のオープンを進めており、15以上の市区町村においてFC店舗が契約待ちの状態となり、今後の業績に寄与してくる見込みです。BPOサービス事業におきましては、保険の営業を中心に新規顧客の開拓を行いました。

この結果、売上高は259,540千円（前年同期比55.9%増）、セグメント損失は138,053千円（前年同期は10,142千円のセグメント損失）となりました。

## ③空間プロデュース事業

空間プロデュース事業につきましては、宿泊施設の運営及びナイトクラブの運営による営業活動を行ってまいりました。

ナイトクラブの運営においては、2022年はハロウィン時期に渋谷の路上などでの酒類の販売がないことからCLUB CAMELOTへの来店があるなど市況は改善してきております。しかしながら、前年よりも円安の影響により、国外で生産されるアルコール飲料などを中心に原価の高騰の影響は引き続き残りました。

宿泊施設の運営については、年末にインバウンド顧客の利用が増え、常に満室に近い営業状況となりコロナ後初めて単月での黒字となるなど市場環境は正常化しており、週末のみならず平日も満室に近い状況と需要がコロナ前に近い水準に戻ってきております。また、3月後半より心斎橋店舗において平日の宿泊営業を開始しております。

この結果、売上高は1,094,068千円（前年同期比46.6%増）セグメント損失は339,145千円（前年同期は154,147千円のセグメント損失）となりました。

## ④ゲーム事業

ゲーム事業につきましては、2021年にレーシングゲームアプリをリリースし2023年3月時点、約19万ダウンロードに到達しております。快適に遊んでいただけるよう随時アップデートを実施しております。また、メタバース事業におけるNFT販売による売上が寄与しました。

この結果、売上高は17,357千円、（前年同期比61.3%減）セグメント損失は35,249千円（前年同期は215,260千円のセグメント損失）となりました。

#### ⑤運送事業

運送事業につきましては、駐車場の貸出し等の安定的な収益獲得に加え、チャーター便、貸切配達便、ハンドキャリー、倉庫保管、医療品輸送など多様なサービスを提供してまいりました。

この結果、売上高は473,672千円、セグメント損失は5,760千円となりました。

当社グループが優先的に対処すべき課題は、収益基盤の安定化及び財務状態の健全化です。誠に遺憾ながら2023年3月期において、2,254,363千円の親会社株主に帰属する当期純損失を計上するに至りました。この結果を真摯に受け止め、グループ全体での収益基盤の安定化が必要であると考えております。

2023年3月期には、2022年8月3日付で「第三者割当による新株式及び第10回新株予約権の発行に関するお知らせ」（以下、「第10回増資」といいます。）を開示しており、322,034個の新株予約権を発行し現時点で218,628個の新株予約権の行使が行われております。

また、行使の内訳は景祥針織有限公司が20,800個、山内規之氏が97,506個、株式会社DANが9,000個、プリベントメディカル株式会社が75,172個、TB1株式会社が16,150個をそれぞれ行使しております。

なお、これまでに運転資金に373百万円、当社における借入金返済資金に310百万円、M&Aにおける取得資金及び当該取得初期における運転資金に1,162百万円、販売用不動産仕入資金に、321百万円、債権買取スキーム投資資金に140百万円、子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金に62百万円、営業貸付金資金に150百万円充当しております。

充当額の大部分が、2023年3月までに行使されたものでありますが、2023年5月15日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において開示のとおり、当社グループ連結で2,254百万円の当期純損失を計上するなど厳しい結果となっております。

第10回増資により資金の取得をいたしましたが、2023年2月13日付「営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上と通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社が一部事業譲受した事業において取得直後の美容脱毛サロン店舗スタッフ人員の確保に伴う費用、賃料等の店舗運営費用及び施術用の消耗品費用などの販売費及び一般管理費が負担となる一方で、従前の顧客への救済としての無償のサービス提供などのコスト負担と、取得当初にはキレイモ事業の著しいレピュテーションの低下の影響と従前の無償施術対象者の予約が多数を占めることとなること、2022年10月1日以降に契約した当社の新規顧客の獲得及び施術の実施による売上の確保のハードルは高かったこと、大々的な広告展開を実施することも顧客感情を逆なでする懸念もあったため、そのような環境下における新規顧客の獲得は容易ではないことから、販売費及び一般管理費の負担増をカバー出来ず赤字幅が増大する結果となっております。

第10回増資により取得資金は、使途に沿うように使用しておりますが、行使の状況やM&Aに

における取得資金及び当該取得初期における運転資金や運転資金で不足資金を借入により補う状況下にありました。

2023年4月以降は、2023年2月中旬から有償化を実施した効果により、一定程度の売上は改善しておりますが、当該事業の黒字化には至っておらず、また、株価低迷により第10回新株予約権の行使が想定通りに進まず、借入返済について期間延長や借換を行うなど資金繰りは厳しい状況になっております。

2023年5月15日「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の2024年3月期の連結業績予想については、美容脱毛事業の特性上時期が進むにつれて売上が増加するストック型のビジネスであることから時期が進むにつれて業績に寄与してくることを見込んだ計画となっていることから、特に2024年3月期の前半においては資金繰りが厳しいと想定していること、当該借入の返済をするため、本資金調達を実施する必要が出てまいりました。

当連結会計年度末における流動負債は3,029,620千円となり、前連結会計年度末に比べ2,596,737千円増加しました。これは主に、短期借入金が1,783,254千円、契約負債が206,600千円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,339,703千円となり、前連結会計年度末に比べ747,202千円増加しました。これは主に、長期借入金が400,795千円増加したこと等によるものであります。この結果、負債合計は4,369,324千円となり、前連結会計年度末に比べ3,343,939千円増加しました。このように2023年3月期は2022年3月期と比較して流動負債が大きく増加しており、安定した経営体制の維持の観点から財務体質の健全化は急務であると考えております。

当社が本第三者割当増資を行う目的につきましては、借入金の返済による財務体質の健全化及び資本増強を図ることであるとともに、本第三者割当増資を実施することで貸借対照表上の純資産の部の改善を図ることを本第三者割当増資の目的としております。

今般の第三者割当増資が実施されなかった場合、その使途として返済予定である借入資金について、当初の契約期間から返済期日の延長を行い、最終返済期限を2023年9月8日と変更していることから再度の延長交渉が難しく、遅延損害金での利息支払いが生じ財務状況に悪影響を及ぼすことが見込まれます。

## (2) 第三者割当増資の選択理由

今回の資金調達に際し、当社グループは、株主の皆様の利益に配慮しつつ、かつ上述の目的の達成を目指しております。当該目標の達成には、後述する資金使途への資金調達が必要であり、資金調達においては、第三者割当による新株式の発行を行うことが最適であるとの結論に至りました。以下は、本資金調達方法を選択した具体的な検討内容であります。

当社は、この度の資金調達に際して、公募増資、株主割当増資等の資金調達手段を検討いたしました。その結果当社は、速やかに資金充当できる第三者割当による新株式の発行による資金調達を選択し、公募増資、株主割当増資については、調達に要する時間及びコストも第三者割当による株式の発行より割高であるため、第三者割当増資による新株式の発行による資金調達が最も適していると判断しております。

当社グループといたしましては、本第三者割当による新株式の発行を実施することにより、一部

借入の返済を行うことで間接的に自己資本の充実が可能となること、現状で速やかな資金調達を行うことが財務の安定化につながるため、当社グループにおける企業価値向上に繋がることから、本第三者割当を実施することといたしました。

今般、短期的な資金需要に対応するため少額増資を行うことといたしました。が、抜本的な財務状況の改善とはならないため、今後も状況を見ながら資金調達を検討いたします。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (1) 調達する資金の額

| 払込金額の総額 (円) | 発行諸費用の概算額 (円) | 差引手取概算額 (円) |
|-------------|---------------|-------------|
| 99,994,000  | 1,550,000     | 98,444,000  |

(注) 1. 発行諸費用の概算額は、登記関連費用350千円、割当予定先の信用調査費用200千円、開示支援費用1,000千円(東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社(東京都千代田区永田町一丁目11番28号、代表取締役 能勢 元)から開示文書等のサポート業務及び手続きに関する業務に関して支援を受けております。)の合計であります。なお、発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

<本新株式の発行により調達する資金の具体的な使途>

| 具体的な使途    | 金額    | 支出予定時期  |
|-----------|-------|---------|
| ① 借入金返済資金 | 98百万円 | 2023年9月 |

(注) 1. 上記の資金使途に充当するまでの間、当該資金は銀行預金等で保管する予定です。  
2. 今後、当社を取り巻く環境に変化が生じた場合等、その時々状況に応じて、資金の使途又は金額を変更する可能性があります。資金の使途又は金額に変更があった場合には、速やかに開示・公表いたします。

#### ① 借入金返済資金

当社は、2022年8月頃に営業貸付金を使途とした借入を行っており、その時点では当社の事業収益から返済を予定しておりました。

また、当社は株式会社ヴィエリスから割賦債権を2022年5月25日及び2022年5月30日に取得し、その後2022年6月～7月頃には当該債権に対する資金の取得が可能な状況にあったため、貸付を行った2022年8月時点ではその後も株式会社サクシードから債権回収による返済が可能と見込んでおりました。

その後、2022年10月1日付で美容脱毛サロン事業を一部譲受した影響により、当社の資金繰りは急激に悪化することとなるとともに、株式会社サクシードから債権に対する支払いを拒まれることとなったことから事業収益からの返済は難しくなるなど当社を取り巻く事業環境が変化し当

初の借入資金を返済する原資と美容脱毛サロンの店舗の月末賃料に充当するために、アークサービス株式会社から借入をいたしました。

アークサービス株式会社からの借入時点では、美容脱毛サロン事業の取得による影響が出ている状況下にあるため、財務状況は厳しいと認識しております。

当社の所有する不動産の売却や貸付先からの資金の回収等により資金を確保するよう務めてまいりましたが、美容脱毛サロン事業のコストが重く、財務状況は厳しくなっておりました。

その後、当初の返済時期である2023年5月24日時点では、株価が低迷していることから第10回新株予約権の行使を見込むことは厳しい状況が継続し、アークサービス株式会社に期間延長を申し入れ、その承諾をいただいたものの厳しい状況が続いておりました。

そのため、今般、アークサービス株式会社への返済を用途とした本増資の実施を検討することとなりました。今般、本第三者割当増資から調達した資金から98百万円を借入金の元本返済に充当することを予定しております。元本の残額及び利息については当社の現預金より充当する予定です。

|              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 借入先          | アークサービス株式会社                      |
| 借入実行日        | 2023年1月25日                       |
| 最終返済期日       | 2023年9月8日                        |
| 当初借入金額       | 100百万円                           |
| 利率           | 12%(2023年5月24日～2023年9月8日の期間は15%) |
| 遅延損害金        | 20%                              |
| 担保           | 無し                               |
| 2023年8月14日残高 | 100百万円                           |

※当初返済期日が2023年5月24日であったところ、返済期日が延長となり、2023年9月8日が最終返済期限となっております。

また、返済期日を延長した際に当初の契約書に記載の遅延損害金20%ではなく、2023年5月24日～2023年9月8日までは20%の遅延損害金を適用せず、利率を12%から15%に変更して支払う旨の合意をしております。

#### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

今回の本新株式の発行により調達する資金は、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期」に記載の使途に充当していくことで、財務体質の健全化及び資本増強に資すると見込んでおります。よって当該資金使途は、企業価値の向上を実現するためのものであり、売上及び利益を向上させるとともに、当社の安定した業績の拡大に寄与するものであり、合理的であると判断しております。

#### 5. 発行条件等の合理性

##### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株の発行価額は、本新株発行に関する取締役会決議日の直前営業日（2023年8月10日）の東京証券取引所スタンダード市場における当社普通株式の終値75円から9.33%ディスカウントした価額である68円といたしました。本新株の発行価額を取締役会決議日の直前取引日の株式会社東京証券取引所スタンダード市場における当社普通株式の終値を基準値として算定しましたのは、直前取引

日の株価終値が当社の企業価値を反映しているものと判断したのによります。

また、発行価額のディスカウント率を9.33%とした経緯としましては、2023年3月期において、2,254,363千円の親会社株主に帰属する当期純損失をしており収益性の不透明さから、割当予定先との間で日証協指針に準拠する10%を超えない範囲で、相応の率をディスカウントすることに対し協議を進め、当社と割当予定先のディスカウントに対する協議の結果によるものとなります。

この発行価額は、取締役会決議日の直前営業日の終値75円に対して9.33%のディスカウント、直前営業日までの1ヶ月間の終値平均値78.27円に対して13.12%のディスカウント、同3ヶ月間の終値平均値79.18円に対して14.12%のディスカウント、同6ヶ月間の終値平均値95.10円に対しては28.49%のディスカウントとなっております。

以上のことから、当社取締役会においては、今回の資金調達目的、他の調達手段の選択肢を考慮するとともに、本新株式の発行条件について十分に討議、検討を行い、本新株式の発行価額は、適正かつ妥当な価額であり、有利発行には該当しないものと判断いたしました。

また、当社監査役3名（うち2名は社外監査役）全員からも、新株式の発行価額については、本新株式発行にかかる取締役会決議の直前日の株価を基準として決定されていること、発行価額のディスカウント率も日本証券業協会の「第三者割当増資等の取扱に関する指針」も勘案の上、当社の経営状況その他の要因を検討した結果であり、上記算定根拠による本新株式の発行にかかる発行価額は有利発行にあたらぬ旨の意見をそれぞれ述べられております。

従って、当社は、本第三者割当増資における発行価額は合理的な水準であると考えております。

## (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資により増加する新株式数1,470,500株は、2023年3月31日現在の発行済株式総数52,668,800株に対し2.79%（2023年3月31日現在の当社総議決権数523,643個に対しては2.81%）の割合で希薄化が生じます。

しかしながら、当社といたしましては、本第三者割当増資により得られる調達資金により資金の返済を行い間接的に手元資金の確保を行うことで財務の強化が可能です。そのことにより、企業価値及び株式価値の向上を図ることで、既存株主にとっても合理的であると判断しております。

## 6. 割当先の選定理由等

### (1) 割当先の概要

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| ① 名称        | 合同会社Happy horse   |
| ② 本店所在地     | 東京都世田谷区北沢二丁目27番9号 |
| ③ 代表者の役職・氏名 | 代表社員 東 博文         |
| ④ 事業内容      | 有価証券の保有及び運用       |
| ⑤ 資本金       | 100万円             |
| ⑥ 設立年月日     | 2021年4月22日        |
| ⑦ 業務執行社員    | 東 博文              |



|               |             |                             |             |
|---------------|-------------|-----------------------------|-------------|
| ⑧             | 当事会社間の関係    |                             |             |
|               | a 資本関係      | 当社が保有している<br>割当予定先の株式の<br>数 | 該当事項はありません。 |
|               |             | 割当予定先が保有し<br>ている当社の株式の<br>数 | 該当事項はありません。 |
|               | b 人的関係      | 該当事項はありません。                 |             |
|               | c 取引関係      | 該当事項はありません。                 |             |
| d 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 |                             |             |

(注) 割当予定先の概要欄及び当社と割当予定先との関係の欄は、別途時点を明記していない限り、2023年8月14日現在におけるものであります。

## (2) 割当先を選定した理由

本新株式の割当予定先である合同会社Happy horseは国内の会社等への投資を実行しキャピタルゲインを得ることを目的とする投資会社です。

合同会社Happy horseの代表社員である東博文氏とは、当社代表取締役である片田朋希が証券会社勤務時代に知り合った旧知の間柄であり、兼ねてより情報交換を行っておりましたが、この度の当社の資金需要に際して、合同会社Happy horseの代表社員である東博文氏に対し、当社代表取締役である片田朋希が2023年6月上旬に打診したところ、2023年6月下旬に当社の事業戦略に賛同いただき、新株式による第三者割当の引受けに応じていただきました。

また、合同会社Happy horseを調査する中で、東氏に対する風評が見られたため事実関係を確認したところ、書き込み等にあるような事実及び当該の人物に対する心当たりも全くないことを約した確約書を受け取ったこと、今般の引受に際して引受契約書を締結こととなりますが、その条項の中で、過去の行為に関して問題があった場合には損害賠償請求をする旨を記載し締結予定です。

それに先立って、契約書にそういった記載をすることについて事前に合意書を受け取っていることから適格性があると判断しております。

## (3) 割当先の保有方針

割当予定先である 合同会社Happy horseとは、保有方針に関して特段の取決めをしておりませんが、純投資を目的としており、本第三者割当により交付を受けることとなる当社普通株式につきましては、市場動向を勘案しながら売却する方針と伺っております。

また、当社は、割当予定先から、払込期日から2年間において、割当予定先が本第三者割当により取得した当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由並びに譲渡の方法等の内容を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に書面により報告すること、当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することについて、割当予定先から払込期日までに確約書を取得する予定であります。

## (4) 割当先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、本第三者割当の引受に係る払込みについて、合同会社Happy horseの代表社員である東博文氏より、本新株式の発行価額を上回る金額を調達し、十分な資金の確保が予定されていることを口頭及び調達にかかる契約書等で確認しております。そのため、当社としても本新株式の払込については問題ないものと判断しております。

#### (5) 割当予定先の実態

当社は、割当予定先である合同会社Happy horse及び同社の代表社員（以下、「割当予定先等」という。）について、割当予定先等が暴力団等の反社会的勢力であるか否かについて、独自に専門の第三者調査機関である株式会社セキュリティ&リサーチ（住所：東京都港区赤坂2-8-11-4F 代表取締役：羽田寿次）に調査を依頼し、同社より調査報告書を受領しました。当該調査報告書において、当該割当予定先等の関係者が反社会的勢力および反市場行為に関わる内容は確認されなかった旨の報告を受けております。

上記のとおり割当予定先等が反社会勢力とは一切関係がないことを確認しており、別途その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しています。

#### 7. 募集後の大株主及び持株比率

| 募集前（2023年3月31日現在）   |       |
|---|-------|
| 合同会社CP1号匿名組合口   | 4.67% |
| 日本証券金融株式会社  | 2.61% |
| 楽天証券株式会社  | 2.59% |
| 山内 規之   | 1.88% |
| PHILLIP SECURITIES (HONG KONG) LIMITED（常任代理人 フィリップ証券株式会社）                   | 1.72% |
| 長尾 康裕   | 1.63% |
| TB1株式会社   | 1.40% |
| 田村 博  | 1.33% |
| BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTSM LSCB RD（常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行） | 1.01% |
| 渡邊 賢二   | 0.99% |

(注) 1. 2023年3月31日現在の株主名簿に基づき記載しております。

2. 割当予定先による本新株式の保有目的は純投資であり、割当予定先は、取得した当社普通株式を売却する可能性があるとのことです。したがって、割当予定先による当社普通株式の長期保有は約束されておりませんので、割当後の持株比率の記載はしていません。

3. 上記の割合は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

| 募集後（2023年9月1日予定） |       |
|------------------|-------|
| 合同会社CP1号匿名組合口    | 4.54% |
| 合同会社Happy horse  | 2.72% |
| 日本証券金融株式会社       | 2.54% |

|  |       |
|--|-------|
| 楽天証券株式会社   | 2.52% |
| 山内 規之  | 1.83% |
| PHILLIP SECURITIES (HONG KONG) LIMITED (常任代理人 フィリップ証券株式会社)           | 1.67% |
| 長尾 康裕  | 1.59% |
| TB1株式会社  | 1.36% |
| 田村 博   | 1.29% |
| BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTSM (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行) | 0.98% |

(注) 1. 2023年3月31日現在の株主名簿に対して本増資により増加する1,470,500株を加えた数を発行済株式数として計算しております。

2. 上記の割合は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

#### 8. 今後の見通し

本第三者割当増資による本新株式の発行は、資金使途への充当することで、当社の資金状況が改善され間接的に手許資金の確保が可能になるため財務の安定に寄与するものと考えております。なお、将来の業績に変更が生じる場合には、速やかに適時の開示を行う予定であります。

#### 9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うことではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは必要としません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

|                     | 2021年3月期  | 2022年3月期  | 2023年3月期  |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高                 | 2,652百万円  | 1,196百万円  | 2,353百万円  |
| 営業利益                | △1,464百万円 | △699百万円   | △1,927百万円 |
| 経常利益                | △1,347百万円 | △721百万円   | △2,068百万円 |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | △1,693百万円 | △1,160百万円 | △2,254百万円 |
| 1株当たり当期純利益(円)       | △127.93円  | △58.66円   | △63.37円   |
| 1株当たり配当金(円)         | —         | —         | —         |
| 1株当たり純資産(円)         | 3.05円     | 15.46円    | 23.68円    |

(2) 2023年3月末日時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

|                              | 株式数         | 発行済株式数に<br>対する比率 |
|------------------------------|-------------|------------------|
| 発行済株式数                       | 52,668,800株 | 100.0%           |
| 現時点での転換価額(行使価額)における<br>潜在株式数 | —           | —                |
| 下限値の転換価額(行使価額)における<br>潜在株式数  | —           | —                |

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

|    | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 |
|----|----------|----------|----------|
| 始値 | 90円      | 150円     | 117円     |
| 高値 | 308円     | 230円     | 164円     |
| 安値 | 75円      | 82円      | 102円     |
| 終値 | 151円     | 117円     | 110円     |

② 最近6ヶ月間の状況

|    | 2023年 |      |      |     |     |     |     |
|----|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|    | 2月    | 3月   | 4月   | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  |
| 始値 | 110円  | 132円 | 110円 | 90円 | 78円 | 81円 | 77円 |
| 高値 | 133円  | 164円 | 111円 | 90円 | 84円 | 90円 | 78円 |
| 安値 | 103円  | 108円 | 87円  | 70円 | 75円 | 76円 | 74円 |
| 終値 | 127円  | 110円 | 89円  | 78円 | 80円 | 77円 | 75円 |

※2023年8月の株価については、2023年8月10日現在で表示しております。

③ 発行決議日前営業日における株価

|    | 2023年8月10日 |
|----|------------|
| 始値 | 75円        |
| 高値 | 76円        |
| 安値 | 74円        |
| 終値 | 75円        |

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンス状況

① 2021年6月7日付開示による第三者割当による新株式の発行

|     |        |                |
|-----|--------|----------------|
| (1) | 払込期日   | 2021年6月7日      |
| (2) | 発行新株式数 | 普通株式1,329,400株 |

|     |                   |  |
|-----|-------------------|--|
| (3) | 発行価額              | 1株当たり173円  |
| (4) | 資金調達額             | 229,986,200円   |
| (5) | 資本組入額             | 1株あたり86.5円   |
| (6) | 資本組入額の総額          | 114,993,100円   |
| (7) | 募集又は割当方法<br>(割当先) | 第三者割当の方法により、以下に記載する者<br>株式会社ウツミ屋 173,400株<br>景祥針織有限公司 578,000株<br>令和キャピタル有限責任事業組合 578,000株 |
| (8) |                   |  |

②第三者割当による行使価額修正条項付第7回新株予約権の発行

|                     |   |
|---------------------|---|
| 割当日                 | 2021年6月7日   |
| 発行新株予約権数            | 113,124個(新株予約権1個につき100株)  |
| 発行価額                | 新株予約権1個あたり248円(総額28,054,752円)   |
| 発行時における<br>調達予定資金の額 | 2,166,098,352円(差引手取額概算額 2,031,757,924円)<br>(内訳) 新株予約権発行分 28,054,752円<br>新株予約権行使分 2,138,043,600円 |
| 割当先                 | 株式会社 TK コーポレーション 100,955 個<br>株式会社ウツミ屋 1,587 個<br>景祥針織有限公司 5,291 個<br>令和キャピタル有限責任事業組合 5,291 個   |
| 募集時における<br>発行済株式数   | 14,348,300株   |
| 当該募集による潜在株式数        | 11,312,400株   |
| 現時点における<br>行使状況     | 発行新株予約権数の111,537個が行使済です。<br>2022年6月10日付で1,587個を消却しております。<br>行使による手取額は1,329,771,576円です。          |

上記、2021年5月26日に提出しました有価証券届出書において、M&A等により時間とリスクを限定し、事業領域の拡大及び収益基盤の安定化を図ることを目的として第7回新株予約権を発行することとし、手取金の使途は当初以下のとおり開示いたしました。

| 具体的な使途                            | 金額       | 支出予定時期          |
|-----------------------------------|----------|-----------------|
| ① 運転資金                            | 48百万円    | 2021年6月～2021年9月 |
| ② スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費 | 100百万円   | 2021年6月～2022年5月 |
| ③ 販売用不動産仕入資金                      | 942百万円   | 2021年6月～2023年5月 |
| ④ 太陽光発電施設取得資金                     | 942百万円   | 2021年6月～2023年5月 |
| 計                                 | 2,032百万円 |                 |

※① 借入金の返済につきましては新株の発行による資金使途であります。

その後、2021年7月15日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、事業戦略として新規事業の参入し、今後の収益源なりうると判断しBPOサービスを主軸としたプレソフィア株式会社を設立いたしました。

| 具体的な使途                           | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|----------------------------------|----------------------|-----------------|
| ① 運転資金                           | 48<br>(28)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費 | 100<br>(68)          | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金                      | 934<br>(5)           | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金                     | 942<br>(11)          | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）                  | 8<br>(-)             | 2021年年7月末       |
| 計                                | 2,032<br>(112)       |                 |

その後、2021年7月30日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、優良な貸付先が見つかり、従来計画していた資金使途よりも当社の収益に貢献する見込みがあると判断したため、資金使途を変更し、営業貸付金として融資をし、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途                            | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|-----------------------------------|----------------------|-----------------|
| ① 運転資金                            | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ② スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費 | 100<br>(68)          | 2021年6月～2022年5月 |
| ③ 販売用不動産仕入資金                      | 934<br>(7)           | 2021年6月～2023年5月 |
| ④ 太陽光発電施設取得資金                     | 892<br>(11)          | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤ 関係会社株式資金（P S社）                  | 8<br>(8)             | 2021年7月末        |
| ⑥ 営業貸付金資金                         | 50<br>(-)            | 2021年7月末        |
| 計                                 | 2,032<br>(142)       |                 |

2021年8月18日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、当社51%出資子会社としてG F社を設立し、空間プロデュース事業の拡大を図ることといたしましたため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途                           | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|----------------------------------|----------------------|-----------------|
| ①運転資金                            | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費 | 100<br>(71)          | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金                      | 884<br>(19)          | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金                     | 892                  | 2021年6月～2023年5月 |

|   |                |                 |
|---|----------------|-----------------|
|   | (11)           |                 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)       | 2021年7月末        |
| ⑥営業貸付金資金  | 50<br>(50)     | 2021年7月末        |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(5)      | 2021年8月～2023年5月 |
| 計   | 2,032<br>(212) |                 |

2021年8月30日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、本ゲームのプロモーション費用および優良な貸付先が見つかり、従来計画していた資金使途よりも当社の収益に貢献する見込みがあると判断したため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途  | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|---|----------------------|-----------------|
| ①運転資金   | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費  | 128<br>(128)         | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金   | 884<br>(23)          | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金  | 814<br>(11)          | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)             | 2021年7月末        |
| ⑥営業貸付金資金  | 100<br>(100)         | 2021年7月～2021年8月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(5)            | 2021年8月～2023年5月 |
| 計   | 2,032<br>(323)       |                 |

2021年10月20日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、当社グループで仮想空間におけるサービス提供を行うメタバース事業を開始することを決定したため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途                           | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|----------------------------------|----------------------|-----------------|
| ①運転資金                            | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費 | 128<br>(128)         | 2021年6月～2022年5月 |

|   |                |                 |
|---|----------------|-----------------|
| ③販売用不動産仕入資金   | 884<br>(211)   | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金  | 805<br>(109)   | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)       | 2021年7月末        |
| ⑥営業貸付金資金  | 100<br>(100)   | 2021年7月～2021年8月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(5)      | 2021年8月～2023年5月 |
| ⑧メタバースイベント資金  | 9<br>(9)       | 2021年10月        |
| 計   | 2,032<br>(618) |                 |

2021年11月30日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、当社に対して貸付依頼があり、当社の収益に貢献する見込みがあると判断したため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途  | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期                      |
|---|----------------------|-----------------------------|
| ①運転資金   | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月             |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費  | 128<br>(128)         | 2021年6月～2022年5月             |
| ③販売用不動産仕入資金   | 884<br>(222)         | 2021年6月～2023年5月             |
| ④太陽光発電施設取得資金  | 705<br>(109)         | 2021年6月～2023年5月             |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)             | 2021年7月末                    |
| ⑥営業貸付金資金  | 200<br>(200)         | 2021年7月～2021年8月<br>2021年11月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(15)           | 2021年8月～2023年5月             |
| ⑧メタバースイベント資金  | 9<br>(9)             | 2021年10月                    |
| 計   | 2,032<br>(739)       |                             |

2021年12月15日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、当社に対して貸付依頼があり、当社の収益に貢献する見込みがあると判断したため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途 | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期 |
|--------|----------------------|--------|
|--------|----------------------|--------|



|   |                |                                      |
|---|----------------|--------------------------------------|
| ①運転資金   | 48<br>(48)     | 2021年6月～2021年9月                      |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費  | 128<br>(128)   | 2021年6月～2022年5月                      |
| ③販売用不動産仕入資金   | 884<br>(228)   | 2021年6月～2023年5月                      |
| ④太陽光発電施設取得資金  | 635<br>(109)   | 2021年6月～2023年5月                      |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)       | 2021年7月末                             |
| ⑥営業貸付金資金  | 270<br>(270)   | 2021年7月～2021年8月<br>2021年11月、2021年12月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(15)     | 2021年8月～2023年5月                      |
| ⑧メタバースイベント資金  | 9<br>(9)       | 2021年10月                             |
| 計   | 2,032<br>(815) |                                      |

2021年12月20日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、当社に対して貸付依頼があり、当社の収益に貢献する見込みがあると判断したため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途  | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|---|----------------------|-----------------|
| ①運転資金   | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費  | 128<br>(128)         | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金   | 884<br>(259)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金  | 535<br>(101)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)             | 2021年7月末        |
| ⑥営業貸付金資金  | 370<br>(300)         | 2021年7月～2022年5月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(15)           | 2021年8月～2023年5月 |
| ⑧メタバースイベント資金  | 9<br>(9)             | 2021年10月        |
| 計   | 2,032<br>(868)       |                 |

2022年1月14日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、子会社ガルヒ就労支援サー

ビス株式会社において支店の開設をするとともに就労支援事業者向け管理システム「MARLINS（マーリンズ）」を取得し、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途  | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|---|----------------------|-----------------|
| ①運転資金   | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費  | 128<br>(128)         | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金   | 884<br>(279)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金  | 485<br>(101)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)             | 2021年7月末        |
| ⑥営業貸付金資金  | 370<br>(365)         | 2021年7月～2022年5月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(15)           | 2021年8月～2023年5月 |
| ⑧メタバースイベント資金  | 9<br>(9)             | 2021年10月        |
| ⑨関連会社事業投資資金（ガルヒ社）<br>・支店開設及びシステム取得資金  | 50<br>(0)            | 2022年1月～2023年1月 |
| 計   | 2,032<br>(953)       |                 |

2022年2月14日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、NFT化に向けた大幅アップデート及びそれに付随したコース、新規機種、声優ボイス等のアップデートや新規作成を行うため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途   | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|--|----------------------|-----------------|
| ①運転資金  | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費、ゲームのNFT化に伴う開発資金 | 170<br>(128)         | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金                                      | 884<br>(289)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金                                     | 443<br>(101)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）                                  | 8<br>(8)             | 2021年7月末        |
| ⑥営業貸付金資金   | 370<br>(365)         | 2021年7月～2022年5月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）                                | 50                   | 2021年8月～2023年5月 |

|  |                  |                 |
|--|------------------|-----------------|
| ・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | (25)             |                 |
| ⑧メタバースイベント資金   | 9<br>(9)         | 2021年10月        |
| ⑨関連会社事業投資資金（ガルヒ社）<br>・支店開設及びシステム取得資金                     | 50<br>(30)       | 2022年1月～2023年1月 |
| 計  | 2,032<br>(1,003) |                 |

2022年3月25日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、当社に対して短期の貸付依頼があり、当社の収益に貢献する見込みがあると判断したため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途   | 金額 百万円<br>(内、充当済み金額) | 支出予定時期          |
|--|----------------------|-----------------|
| ①運転資金  | 48<br>(48)           | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費、ゲームのNFT化に伴う開発資金                             | 170<br>(150)         | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金  | 884<br>(291)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金   | 393<br>(102)         | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（PS社）   | 8<br>(8)             | 2021年7月末        |
| ⑥営業貸付金資金   | 420<br>(420)         | 2021年7月～2022年5月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（GF社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（45百万円） | 50<br>(40)           | 2021年8月～2023年5月 |
| ⑧メタバースイベント資金   | 9<br>(9)             | 2021年10月        |
| ⑨関連会社事業投資資金（ガルヒ社）<br>・支店開設及びシステム取得資金   | 50<br>(30)           | 2022年1月～2023年1月 |
| 計  | 2,032<br>(1,098)     |                 |

2022年4月11日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、当社に対して短期の貸付依頼があり、当社の収益に貢献する見込みがあると判断したため、以下のような資金使途と変更いたしました。

| 具体的な使途 | 金額 百万円 | 支出予定時期 |
|--------|--------|--------|
|--------|--------|--------|

|   | (内、充当済み金額)       |                 |
|---|------------------|-----------------|
| ①運転資金   | 48<br>(48)       | 2021年6月～2021年9月 |
| ②スマートフォン向けゲームの新規リリースに関するプロモーション費、ゲームのNFT化に伴う開発資金                              | 170<br>(170)     | 2021年6月～2022年5月 |
| ③販売用不動産仕入資金   | 884<br>(292)     | 2021年6月～2023年5月 |
| ④太陽光発電施設取得資金  | 323<br>(103)     | 2021年6月～2023年5月 |
| ⑤関係会社株式資金（P S社）   | 8<br>(8)         | 2021年7月末        |
| ⑦ 営業貸付金資金   | 440<br>(440)     | 2021年7月～2022年5月 |
| ⑦関連会社事業投資資金（G F社）<br>・株式資金（5百万円）<br>・飲食店舗の事業譲受資金及び店舗関連設備資金並びに当該事業の運転資金（85百万円） | 90<br>(40)       | 2021年8月～2023年5月 |
| ⑧メタバースイベント資金及びメタバース空間リニューアル開発資金、プロモーション費用                                     | 19<br>(9)        | 2022年4月～2022年7月 |
| ⑧ 関連会社事業投資資金（ガルヒ社）<br>・支店開設及びシステム取得資金   | 50<br>(30)       | 2022年1月～2023年1月 |
| 計   | 2,032<br>(1,140) |                 |

2022年5月24日付「第三者割当による価額修正条項付第7回新株予約権の取得及び消却に関するお知らせ」において残存新株予約権を全個数消却しております。

③2022年8月3日付開示による第三者割当による新株式の発行

|                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 払込期日           | 2022年8月19日                   |
| 調達資金の額         | 200,010,000円                 |
| 発行価額           | 1株につき118円                    |
| 募集時における発行済株式数  | 1,695,000株                   |
| 当該募集における発行済株式数 | 27,216,700株                  |
| 募集後における発行済株式数  | 28,911,700株                  |
| 割当先            | 景祥針織有限公司 1,695,000株          |
| 当初の資金使途        | 運転資金：200百万円                  |
| 支出予定時期         | 2022年8月～2023年1月              |
| 現時点における充当状況    | 運転資金：150百万円<br>営業貸付金資金：50百万円 |

第三者割当による新株式の発行による当初の資金使途は、以下のとおりであります。

| 具体的な使途 | 金額（百万円） | 支出予定時期          |
|--------|---------|-----------------|
| ①運転資金  | 200     | 2022年8月～2023年1月 |
| 計      | 200     | 2022年8月～2023年1月 |

2022年10月5日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、運転資金から当社における借入金返済に使途を変更しております。

| 具体的な用途         | 金額 (百万円) | 支出予定時期          |
|----------------|----------|-----------------|
| ① 運転資金         | 150      | 2022年8月～2023年1月 |
| ③当社における借入金返済資金 | 50       | 2022年8月～2024年7月 |
| 計              | 200      | 2022年8月～2023年1月 |

④第三者割当による第10回新株予約権の発行

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 割当日                          | 2022年8月19日   |
| 発行新株予約権数                     | 322,034個(新株予約権1個につき100株)   |
| 発行価額                         | 新株予約権1個あたり181円(総額58,288,154円)  |
| 発行時における<br>調達予定資金の額          | 3,858,289,354円(差引手取額概算額 3,795,752,374円)<br>(内訳) 新株予約権発行分 58,288,154円<br>新株予約権行使分 3,800,001,200円  |
| 割当先                          | 景祥針織有限公司 33,900個<br>山内規之 101,694個<br>株式会社DAN 42,373個<br>プリベントメディカル株式会社 144,067個  |
| 募集時における発行済株式数                | 27,216,700株  |
| 当該募集による潜在株式数                 | 32,203,400株  |
| 現時点における行使状況                  | 210,153個の新株予約権の行使が行われております。  |
| 現時点における調達した資金の<br>額(差引手取概算額) | 2,538,093,554円   |
| 発行時における当初の資金用途               | ②アトリエブックアンドベッドにおける借入金返済:400百万円<br>③当社における借入金返済資金:375百万円<br>④M&Aによる法人取得資金及び当該法人取得初期における運転資金:1,520百万円<br>⑤販売用不動産仕入資金:600百万円<br>⑥債権買取スキーム投資資金:800百万円<br>⑦子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金:100百万円                                 |
| 発行時における支出予定時期                | ②2022年8月～2023年12月<br>③2022年8月～2023年5月<br>④2022年8月～2024年7月<br>⑤2022年8月～2024年7月<br>⑥2022年8月～2024年7月<br>⑦2022年8月～2024年7月  |
| 現時点における資金の充当状況               | ①運転資金:323百万円<br>②アトリエブックアンドベッドにおける借入金返済:0百万円<br>③当社における借入金返済資金:310百万円<br>④M&Aによる法人取得資金及び当該法人取得初期における運転資金:1,062百万円<br>⑤販売用不動産仕入資金:321百万円<br>⑥債権買取スキーム投資資金:140百万円<br>⑦子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金:62百万円<br>⑧営業貸付金資金:150百万円 |

第三者割当による第10回新株予約権の発行当初の用途としては以下のとおりであります。

| 具体的な用途                          | 金額 (百万円) | 支出予定時期           |
|---------------------------------|----------|------------------|
| ②アトリエブックアンドベッドにおける借入金返済         | 400      | 2022年8月～2023年12月 |
| ③当社における借入金返済資金                  | 375      | 2022年8月～2023年5月  |
| ④M&Aによる法人取得資金及び当該法人取得初期における運転資金 | 1,520    | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑤販売用不動産仕入資金                     | 600      | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑥債権買取スキーム投資資金                   | 800      | 2022年8月～2024年7月  |

|                          |       |                 |
|--------------------------|-------|-----------------|
| ⑦子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金 | 100   | 2022年8月～2024年7月 |
| 計                        | 3,795 |                 |

2022年9月26日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、M&Aにおける取得資金及び当該取得初期における運転資金と記載を修正し、その一部使途金額を当社における借入金返済資金の使途金額へ振替をいたしました。

＜新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

| 具体的な使途                       | 金額（百万円） | 支出予定時期           |
|------------------------------|---------|------------------|
| ②アトリエブックアンドベッドにおける借入金返済      | 400     | 2022年8月～2023年12月 |
| ③当社における借入金返済資金               | 485     | 2022年8月～2023年5月  |
| ④M&Aにおける取得資金及び当該取得初期における運転資金 | 1,410   | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑤販売用不動産仕入資金                  | 600     | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑥債権買取スキーム投資資金                | 800     | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑦子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金     | 100     | 2022年8月～2024年7月  |
| 計                            | 3,795   |                  |

2022年10月5日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、債権買取スキーム投資資金から運転資金及び当社における借入金返済に使途を変更しております。

| 具体的な使途                       | 金額（百万円） | 支出予定時期           |
|------------------------------|---------|------------------|
| ①運転資金                        | 50      | 2022年8月～2023年1月  |
| ②アトリエブックアンドベッドにおける借入金返済      | 400     | 2022年8月～2023年12月 |
| ③当社における借入金返済資金               | 525     | 2022年8月～2023年5月  |
| ④M&Aにおける取得資金及び当該取得初期における運転資金 | 1,410   | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑤販売用不動産仕入資金                  | 600     | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑥債権買取スキーム投資資金                | 710     | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑦子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金     | 100     | 2022年8月～2024年7月  |
| 計                            | 3,795   |                  |

2022年12月22日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、2022年10月1日付で事業譲受した脱毛事業において人件費、賃料などのコスト負担から手許資金の強化を行ったこと、コロナ融資の返済開始が迫っていることから、営業貸付金の使途を追加するなど使途の変更をいたしました。

＜新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

| 具体的な使途                       | 金額（百万円） | 支出予定時期           |
|------------------------------|---------|------------------|
| ①運転資金                        | 350     | 2022年8月～2023年7月  |
| ②アトリエブックアンドベッドにおける借入金返済      | 400     | 2022年8月～2023年12月 |
| ③当社における借入金返済資金               | 525     | 2022年8月～2023年5月  |
| ④M&Aにおける取得資金及び当該取得初期における運転資金 | 1,410   | 2022年8月～2024年7月  |

|                          |       |                 |
|--------------------------|-------|-----------------|
| ⑤販売用不動産仕入資金              | 600   | 2022年8月～2024年7月 |
| ⑥債権買取スキーム投資資金            | 360   | 2022年8月～2024年7月 |
| ⑦子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金 | 100   | 2022年8月～2024年7月 |
| ⑧営業貸付金資金                 | 50    | 2022年12月        |
| 計                        | 3,795 |                 |

2023年2月28日付開示「資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、2023年2月13日付開示「営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上と通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において通期業績予想の修正を行うなど、脱毛事業運営コストを補填するため、債権買取スキーム投資資金から運転資金及び営業貸付金に配分する形で使途の変更をいたしました。

| 具体的な使途                       | 金額 (百万円) | 支出予定時期           |
|------------------------------|----------|------------------|
| ①運転資金                        | 550      | 2022年8月～2023年7月  |
| ②アトリエブックアンドベッドにおける借入金返済      | 400      | 2022年8月～2023年12月 |
| ③当社における借入金返済資金               | 525      | 2022年8月～2023年5月  |
| ④M&Aにおける取得資金及び当該取得初期における運転資金 | 1,410    | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑤販売用不動産仕入資金                  | 520      | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑥債権買取スキーム投資資金                | 140      | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑦子会社GFAFOODS株式会社への事業投資資金     | 100      | 2022年8月～2024年7月  |
| ⑧営業貸付金資金                     | 150      | 2022年12月～2023年3月 |
| 計                            | 3,795    |                  |

## 10. 発行要綱

### (1) 募集株式の発行要項

- |                     |   |
|---------------------|---|
| ① 株式の種類及び数          | 当社普通株式 1,470,500株                         |
| ② 払込金額              | 1株につき金 68円                                |
| ③ 払込金額の総額           | 金 99,994,000円                             |
| ④ 増加する資本金及び資本準備金の額  | 資本金 1株につき 34円<br>資本準備金 1株につき 34円          |
| ⑤ 増加する資本金及び資本準備金の総額 | 資本金 金 49,997,000円<br>資本準備金 金 49,997,000円  |
| ⑥ 割当先及び割当株式、払込金額    | 合同会社Happy horse<br>1,470,500株 99,994,000円 |
| ⑥ 申込期間              | 2023年8月31日                                |
| ⑦ 払込期日              | 2023年8月31日                                |
| ⑧ その他               | その他第三者割当による株式の発行に関し必要な事項は、当社代表取締役に一任する。   |

以 上